



「避難場所」と「避難所」って何が違うの？ ～いざという時に逃げる場所を確認しましょう～

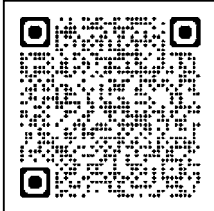
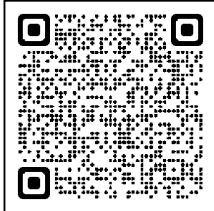


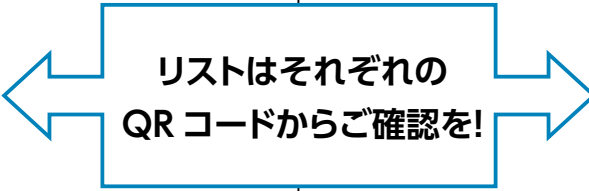
みなさんこんにちは。今月号から毎月、防災全般や幌延町の防災に関することをお届けします。ご自身や家庭内、職場内で防災について考え、防災力を高めるきっかけにいただければと思います。

さて、みなさん「避難場所」と「避難所」の違い、わかりますか？

名前は似ていますが、それぞれ違いがあります。下の表に簡単にまとめましたので確認してみましょ。

避難場所と避難所の違い

区分	避難場所	避難所
どんな場所？ (目的)	一時的に避難し命を守る場所 (安全確保が目的)	一定期間生活する場所 (生活維持が目的)
どんな時 に使う？	火災や土砂災害などから身を守るために緊急的な避難が必要なとき。 (災害ごとに場所が違うので注意)	災害に遭い自宅に戻れないときや災害の恐れがあり、自宅の安全が確保できないとき。
どこにある？	町内31か所を指定 例) 開進集会所、下沼寿の家など 	町内6か所を指定 例) 幌延小学校、問寒別小中学校など 



リストはそれぞれの
QRコードからご確認を!

避難場所は、災害によって避難できる場所が決まっているので、どの避難場所が、何の災害に対応しているか、避難場所のリストを確認してから避難しましょう。

災害発生時や災害発生の恐れがあり、避難所を開設する場合は、町から避難所開設の案内を告知端末機や町のホームページで行いますので、必ず確認し慌てずに行動してください。

なお、災害時でも自宅の安全が確保されている場合は、避難所に避難する必要はありません。災害により崩壊した道路などを通らなければならない場合は、無理に避難するとかえって危険な場合もあります。安全な地域にいる親戚や知人宅に避難することも有効です。ご自身の状況や周囲の状況を確認し適切な避難を行ってください。

幌延町防災トップページ

<https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/category/life/le009f0000000w85.html>

